

備前市事務事業評価表

事務事業名	老人保健制度維持事業	コード	02-01-08-01
		担当課・係	保健課 保険医療係
		担当者	則枝 勇人
		電話	64-1819
事業実施期間	平成17年度から		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目(施策)	老人保健（医療費給付）	

事業について	
目的 (何のために)	老人保健制度を維持し、適切な給付事業の実施に努める。
対象 (誰・何を対象に)	老人医療対象者
内容	老人医療受給者の資格管理及び制度維持のために必要な事務を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
対象者	6,565 人	6,250 人	
第三者納付金	8,332,624 円	6,390,846 円	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	40,186	国庫補助金等	8,719	直接事業費	51,570	国庫補助金等	6,777			
	人件費	2,790	受益者負担		人件費	3,090	受益者負担				
	市債		市債		市債		市債				
合計	42,976	一般財源等	34,257	合計	54,660	一般財源等	47,883	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.35 人	0.35 人	
結果指標名	一人当たり事業費	一人当たり事業費	
結果指標量	6,565	6,250	
単位	人	人	
対前年比	-	95.20%	0.00%
活動にかかるコスト	42,976,000 円	54,660,000 円	
単位当たりコスト	6,546 円	8,746 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	適正な資格管理に基づき、適切な老人医療費の給付に資する。		
成果指標名	一人当たり費用	式又は説明	年間費用額 / 対象者
	17年度	18年度	
成果指標量	6,546.00	8,746.00	
対前年比	-	133.61%	0.00%
到達目標値	6,500円	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等： 老人保健法	妥当性評価<A~E> C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	高齢者が適切に医療給付を受けることは、法に基づく必要な事業である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C	
効率性の評価	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	正確で迅速に資格管理事務が実施できている。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	事業を実施することで、老人医療受給者の安心と経済的な負担を軽減することができているが、医療制度改革による新制度の普及・啓発が必要となる。	

平成19年度状況		説明 適切な資格管理と、医療制度改革による新制度の普及・啓発
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 6,500円	結果指標量
	成果指標量 6,500円	

総合評価	今後の医療制度改革による新規医療保険に対応するため、対象者に対する普及・啓発活動が必要となってくる。現行の制度では継続して適切な資格管理の実施が必要である。	評価区分 <A~E> C
------	--	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	法改正による制度の普及・啓発	平成19年度	混乱を最小限に抑え、医療制度への信頼を維持する。